



鳥栖西中学校区

No. 30

R3. 3. 3発行

小中一貫教育だより

鳥栖市立旭小学校
鳥栖市立麓小学校
鳥栖市立鳥栖西中学校

「三訓」

挨拶・時間・清掃



弥生3日、「卒業式」を目前に控える時期となりました。昨年の3月2日に新型コロナウイルス感染症の影響で突然休校となつてから1年が経ちました。今年度は、様々な行事が中止や縮小を余儀なくされましたが、オンラインによる集会や活動のやり方を見直すなどの工夫をしながら、できる限り実施してきました。保護者の皆様にはご理解・ご協力をいただき、感謝申し上げます。鳥栖西中学校区の各学校では、1年間のまとめと次年度に向けての準備に取り組んでいるところです。

ようこそ先輩の取り組み

例年は、中学1年生が母校へ出向き、小学6年生を対象にスライド等を使って鳥栖西中の紹介をしていましたが、今年度は、オンラインで行いました。中学校の1年生の生徒会が中心となって小学校と中学校の違うところや鳥栖西中の特徴などを分かりやすく説明しました。

1月15日（金）

【西中での様子】

【旭小での様子】

【麓小での様子】

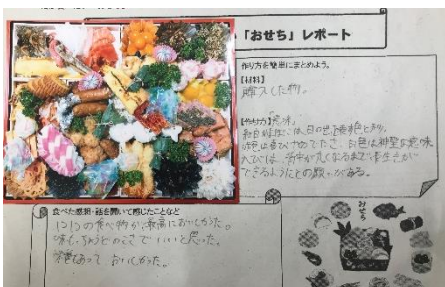


そのあと、小学生からあらかじめ寄せられた質問の一つ一つに中学生がていねいに答えていました。勉強や部活のことだけでなく、「怖い先生は、誰ですか？」と代表の児童が質問すると教室は笑いに包まれていました。中学校への期待感を大きく膨らませ、卒業までの日々を大切に過ごしてほしいと思います。

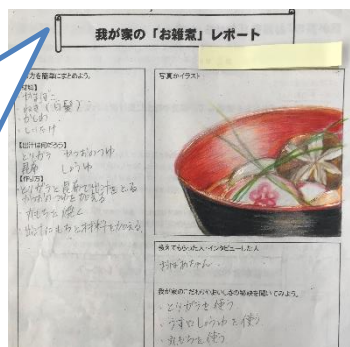
各学校の子ども達の様子

【鳥栖西中学校】「おせちレポート」

2年生では世界文化遺産に登録された「和食」について、その良さや魅力を学ぶとともに、私たちの食生活における課題を学びました。また、冬休みの課題として各家庭で受け継がれているお雑煮やおせちについて、材料や作り方、こめられた思いについてレポートを作成しました。年末、おせちを通してお家の方との会話も弾んだようです。ご協力ありがとうございました。



写真やイラストを使って美しくまとめられたレポート。お家の方にも頑張ってくださいました。



【旭小学校】『児童会活動』

6年生を中心とした児童会活動も積極的に行いました。各委員会の活動も1年間の総まとめに入りました。ボランティア委員会では1年間で回収したプルタブを「NPO法人わかば」さんへの贈呈式を行いました。

全校で17kgのプルタブが集まりました。障害者の方への支援に役立てていただくそうです。



代表委員会では新たに3年生も参加して「お別れ集会」の話し合いもしました。今年度総決算と新年度への準備を少しずつ進めています。



【麓小学校】『道』がつく文化

6年生の教科「日本語」の授業で、『道』がつく文化の学習がありました。社会体育で練習に励んでいる6年生による空手道と剣道の実技披露がありました。剣道の紹介では、本校職員の有段者との試合形式の稽古披露もありました。本物の迫力は違いますね。下級生も見に来ていて、カッコいい姿に見入っていました。



鳥栖西中学校区小中一貫教育研究 まとめ

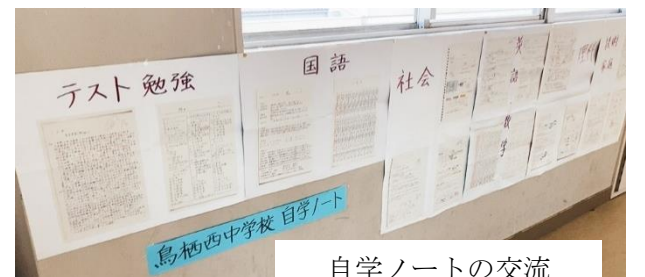
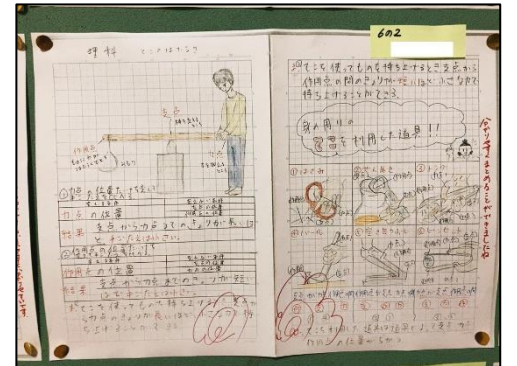


コロナ禍で、これまで取り組んできた『小中合同あいさつ運動』や『中学校体験授業』ができなかったり、『ようこそ先輩』がオンラインによる紹介に変わったりと、例年とは違う形にはなりましたが、今年度も小中連携に取り組んできました。また、昨年度に引き続き、学力・活用力の向上に取り組みながら、学習規律と生活規律に系統性を持たせた「鳥栖西スタイル」の定着化を、ユニバーサルデザイン教育の考え方をベースに据えて取り組んでまいりました。次年度以降も、これまでの課題を真摯に受け止め、小中学校間の滑らかな接続と9年間を見通した小中一貫教育を推進していきたいと考えております。保護者の皆様には、今後も一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

○ 学力向上・授業づくり部会の取り組み

<学習習慣の定着>

学習習慣を定着させるためには、学校での学習だけでなく家庭での学習も欠かせないものです。そこで、「家庭学習の手引き」「学びのすすめ」などを配付し、家庭での学習時間の目安や学習のコツなどを知らせるようにしました。また、自主的な学習を促すために「自学ノート」にも取り組み、年間で数回、家庭学習がんばり週間等を設け、優れた「自学ノート」を掲示したり表彰を行ったりして質的な向上を図りました。他校の自学ノートをコピーして交流も行いました。



自学ノートの交流

<授業づくり>

ユニバーサルデザインの考え方に立ち、校内研究を中心に『わかりやすい授業』となるよう工夫した授業実践に取り組みました。『話し合い』活動を授業の中に取り入れ、「モデルの提示」、「語彙力をつける工夫」、「思ったことを話しやすい雰囲気作り」等、各学校で工夫した授業実践を行い、その成果が出ています。

○ 生活基盤づくり部会の取り組み

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、三校の部員（教職員）が一堂に会して協議をする場がもてませんでした。その中でも各校の部長を中心に「生活規律」の定着を目指して、継続して『三訓（あいさつ・時間・掃除）』の徹底に取り組みました。

○「あいさつ」は各学校における課題の一つで、小中9年間を見通した活動に取り組んでいます。中学生が母校に出向き小学生と一緒にあいさつ運動をするなど、あいさつの習慣づくりとその定着に取り組んでいます。

また、校内の指導だけでなくPTAや地域の方々にも協力をいただきました。保護者の方からは、「今年は行事が少ないので、あいさつ運動が保護者同士の交流の場になってよかった。」という声も多く聞かれました。保護者の皆様、地域の皆様ご協力ありがとうございました。



○「時間」を意識した行動や無言「掃除」の取り組みにも各校で定着化を目指して頑張っています。

小学校の「たてわり班掃除」では、6年生リーダーが下級生に手本を見せながら、時間を意識して自分の役割をしっかりと果たせるように熱心に声をかけています。中学校では大規模改造工事が済んだきれいな校舎を大切に使おうと、無言掃除を心がけながら、日々の清掃活動に取り組んでいます。

○ 心づくり部会の取り組み

合同研修会では2年生の道徳の授業を参観しました。ジャーナリストの山本美香さんが記した「戦争を取材する」という資料を使った授業でした。発問だけでなく、ICTを効果的に使ったり、細部まで計画された板書で学習を振り返らせたりと、大変勉強になる授業でした。授業研究会では、参観した小学校の先生から、「中学生になって頑張っている姿や、授業を通して自分の考えや気持ちを素直に伝える姿に感心した」、「楽しそうで安心した」といった感想が寄せられました。

各学校の日頃の実践発表と意見交換では、三校共通で行っている「授業づくりのステップ1.2.3」に添った道徳授業の実践や「振り返りシート」の実践を報告し合い、また麓小学校が行っている「心のめあて」づくりについても、来年度以降、三校共通の取組とすることを確認しました。また、それぞれの学校が抱えている課題や、授業で様々な意見を出し合うための安心・安全な学級づくりについても意見交換を行いました。今年度から立ち上げた部会ですが、小中一貫教育の一つの柱として今後も相互の授業を参観し合い、学校教育全体を通して児童生徒の心を育てる取組を推進していきたいと思っております。